

新株式発行並びに株式売出届出目論見書の訂正事項分

(2021年4月 第2回訂正分)

ビジョナル株式会社

ブックビルディング方式による募集における発行価格及びブックビルディング方式による売出しにおける売価格等の決定に伴い、金融商品取引法第7条第1項により有価証券届出書の訂正届出書を2021年4月12日に関東財務局長に提出し、2021年4月13日にその届出の効力は生じております。

- 新株式発行並びに株式売出届出目論見書の訂正理由
2021年3月17日付をもって提出した有価証券届出書及び2021年4月6日付をもって提出した有価証券届出書の訂正届出書の記載事項のうち、ブックビルディング方式による募集22,500株の募集の条件及びブックビルディング方式による売出し1,541,300株（引受人の買取引受けによる国内売出し1,274,400株・オーバーアロットメントによる売出し266,900株）の売出しの条件並びにこの募集及び売出しに関し必要な事項が、2021年4月12日に決定したため、これらに関連する事項を訂正するため有価証券届出書の訂正届出書を提出いたしましたので、新株式発行並びに株式売出届出目論見書を訂正いたします。
- 訂正箇所及び文書のみを記載してあります。なお、訂正部分には_____を付し、ゴシック体で表記しております。

第一部 【証券情報】

第1【募集要項】

1【新規発行株式】

<欄外注記の訂正>

- (注) 3. 上記発行数は、2021年3月17日開催の取締役会において決議された当社普通株式2,127,700株（以下「総発行数」という。）の公募による新株式発行のうち、日本国内における募集（以下「国内募集」という。）に係るものであります。総発行数のうち残余の2,105,200株について、国内募集と同時に、海外市場（ただし、米国においては1933年米国証券法（以下「米国証券法」という。）に基づくルール144Aに従った適格機関投資家に対する販売のみとします。）において募集（以下「海外募集」という。）が**行われます。**
後記「第2 売出要項 1 売出株式（引受人の買取引受けによる国内売出し）」に記載のとおり、国内募集と同時に、当社の株主であるSMBCベンチャーキャピタル2号投資事業有限責任組合、佐藤和男、イーストベンチャーズ2号投資事業有限責任組合、Spiral Capital Japan Fund 1号投資事業有限責任組合、TUSキャピタル1号投資事業有限責任組合、みずほ成長支援投資事業有限責任組合、efu Investment Ltd.、永田信、村田聡、多田洋祐、SBIベンチャー企業成長支援3号投資事業有限責任組合、SBIベンチャー企業成長支援4号投資事業有限責任組合、園田剛史、SBIベンチャー企業成長支援2号投資事業有限責任組合、SBIベンチャー企業成長支援投資事業有限責任組合、酒井哲也、瀬尾萌、新津俊之、関哲及び服部玲子が保有する当社普通株式1,274,400株の日本国内における売出し（以下「引受人の買取引受けによる国内売出し」という。）が**行われます。**
また、国内募集、引受人の買取引受けによる国内売出し及び海外募集と同時に、海外市場（ただし、米国においては米国証券法に基づくルール144Aに従った適格機関投資家に対する販売のみとします。）において、当社の株主であるジャフコ・スーパーV3共有投資事業有限責任組合、島田亨、南壮一郎、ジャパン・コインベスト投資事業有限責任組合、グロービス5号ファンド投資事業有限責任組合、Salesforce Ventures LLC、電通デジタル投資事業有限責任組合、グリーン株式会社、竹内真、Rakuten Capital S.C.Sp.、Globis Fund V, L.P.及び株式会社リンクアンドモチベーションが保有する当社普通株式9,974,300株の売出し（以下「海外売出し」という。）が**行われます。**
さらに、後記「第2 売出要項 3 売出株式（オーバーアロットメントによる売出し）」に記載のとおり、需要状況等を**勘案した結果**、国内募集及び引受人の買取引受けによる国内売出しとは別に、野村證券株式会社が当社株主である南壮一郎から借入れる当社普通株式**266,900株**の日本国内における売出し（以下「オーバーアロットメントによる売出し」という。）が**追加的に行われます。**

また、国内募集、引受人の買取引受けによる国内売出し、海外募集及び海外売出しにおいて国内及び海外のそれぞれの市場における需要状況に見合った販売を行うために、国内の引受団に当初割当てられた当社普通株式の一部が海外の引受団に売却されることがあります。

海外募集及び海外売出しの詳細については、後記「募集又は売出しに関する特別記載事項 2. 海外募集及び海外売出しについて」をご参照下さい。

6. グローバル・オフリングに関連して、ロックアップに関する合意が2021年4月12日付でなされております。その内容については、後記「募集又は売出しに関する特別記載事項 4. ロックアップについて」をご参照下さい。

2【募集の方法】

2021年4月12日に決定された引受価額(4,700円)にて、当社と元引受契約を締結した後記「4 株式の引受け」欄記載の金融商品取引業者(以下「第1 募集要項」において「引受人」という。)は、買取引受けを行い、当該引受価額と異なる価額(発行価格5,000円)で国内募集を行います。引受人は払込期日までに引受価額の総額を当社に払込み、国内募集における発行価格の総額との差額は引受人の手取金といたします。当社は、引受人に対して引受手数料を支払いません。

なお、国内募集は、株式会社東京証券取引所(以下「取引所」という。)の定める「有価証券上場規程施行規則」第233条に規定するブックビルディング方式(株式の取得の申込みの勧誘時において発行価格又は売出価格に係る仮条件を投資家に提示し、株式に係る投資家の需要状況等を把握した上で発行価格等を決定する方法をいう。)により決定された価格で行います。

<欄内の数値の訂正>

「ブックビルディング方式」の「資本組入額の総額(円)」の欄:「50,231,250」を「52,875,000」に訂正。

「計(総発行株式)」の「資本組入額の総額(円)」の欄:「50,231,250」を「52,875,000」に訂正。

<欄外注記の訂正>

(注)4. 資本組入額の総額は、会社法上の増加する資本金の額であります。

(注)5. の全文削除

3【募集の条件】

(2)【ブックビルディング方式】

<欄内の数値の訂正>

「発行価格(円)」の欄:「未定(注)1」を「5,000」に訂正。

「引受価額(円)」の欄:「未定(注)1」を「4,700」に訂正。

「資本組入額(円)」の欄:「未定(注)3」を「2,350」に訂正。

「申込証拠金(円)」の欄:「未定(注)4」を「1株につき5,000」に訂正。

<欄外注記の訂正>

(注)1. 発行価格は、ブックビルディング方式によって決定いたしました。その状況については、以下のとおりであります。

発行価格の決定に当たりましては、仮条件(4,500円～5,000円)に基づいて機関投資家等を中心にブックビルディングを実施いたしました。

当該ブックビルディングの状況につきましては、

①申告された総需要株式数は、公開株式数を十分に上回る状況であったこと。

②申告された総需要件数が多数にわたっていたこと。

③申告された需要の価格毎の分布状況は、仮条件の上限価格に集中していたこと。

以上が特徴でありました。

上記ブックビルディングの結果、公開株式数以上の需要が見込まれる価格であり、現在の株式市場の状況、最近の新規上場株の株式市場における評価、上場日までの期間における価格変動リスク等を総合的に勘案して、5,000円と決定いたしました。

なお、引受価額は1株につき4,700円と決定いたしました。

2. 前記「2 募集の方法」の冒頭に記載のとおり、発行価格(5,000円)と会社法上の払込金額(3,825円)及び2021年4月12日に決定された引受価額(4,700円)とは各々異なります。発行価格と引受価額との差額の総額は、引受人の手取金となります。

3. 資本組入額は、1株当たりの増加する資本金の額であります。なお、1株当たりの増加する資本準備金の額は2,350円(増加する資本準備金の額の総額52,875,000円)と決定いたしました。

4. 申込証拠金には、利息をつけません。申込証拠金のうち引受価額相当額(1株につき4,700円)は、払込期日に新株式払込金に振替充当いたします。

7. 販売に当たりましては、取引所の有価証券上場規程に定める株主数基準の充足、上場後の株式の流通性の確保等を勘案し、需要の申告を行わなかった投資家にも販売が行われることがあります。

引受人及びその委託販売先金融商品取引業者は、公平かつ公正な販売に努めることとし、自社で定める配分に関する基本方針及び社内規程等に従い、販売を行う方針であります。配分に関する基本方針については各社の店頭における表示又はホームページにおける表示等をご確認下さい。

8. 国内募集が中止された場合には、引受人の買取引受けによる国内売出し、オーバーアロットメントによる売出し、本件第三者割当増資、海外募集及び海外売出しも中止されます。また、海外募集又は海外売出しが中止された場合にも、国内募集、引受人の買取引受けによる国内売出し、オーバーアロットメントによる売出し及び本件第三者割当増資は中止されます。

4 【株式の引受け】

<欄内の数値の訂正>

「引受けの条件」の欄：

2. 引受人は新株式払込金として、2021年4月21日までに払込取扱場所へ引受価額と同額（1株につき4,700円）を払込むことといたします。
3. 引受手数料は支払われません。ただし、発行価格と引受価額との差額（1株につき300円）の総額は引受人の手取金となります。

<欄外注記の訂正>

- (注) 1. 当社は、上記引受人と2021年4月12日に国内募集に関する元引受契約を締結いたしました。ただし、払込期日までの間に、同契約の解除条項に基づき、同契約を解除した場合、国内募集を中止いたします。
2. 引受人は、国内募集に係る引受株式数のうち、2,000株について、全国の販売を希望する引受人以外の金融商品取引業者に販売を委託いたします。

(注) 1. の全文削除及び 2. 3. の番号変更

5 【新規発行による手取金の使途】

(1) 【新規発行による手取金の額】

<欄内の数値の訂正>

「払込金額の総額（円）」の欄：「100,462,500」を「105,750,000」に訂正。

「差引手取概算額（円）」の欄：「18,462,500」を「23,750,000」に訂正。

<欄外注記の訂正>

- (注) 1. 払込金額の総額は、会社法上の払込金額の総額とは異なり、国内募集における株式の新規発行に際して当社に払い込まれる引受価額の総額であります。

(2) 【手取金の使途】

上記の国内募集における差引手取概算額23百万円については、海外募集における差引手取概算額9,632百万円及び前記「1 新規発行株式」の（注）5. に記載の本件第三者割当の手取概算額上限1,254百万円と併せて、当社の主要サービスである『ビズリーチ』（注）の更なる成長のためのマーケティング投資に加え、『HRMOS』（注）をはじめとした新規サービスの成長のためのマーケティング投資、人件費として充当する予定であります。具体的には、以下のとおりであります。

① 広告宣伝・販売促進等のマーケティング投資

子会社への投融資資金に充当の上、新規顧客獲得、認知度向上のための広告宣伝・販売促進等のマーケティング投資の一部として、4,000百万円（2021年7月期に500百万円、2022年7月期に1,500百万円、2023年7月期に2,000百万円）を充当する予定であります。実際の充当時期までは、安全性の高い金融商品等で運用する方針であります。

② 事業拡大のための人件費

子会社への投融資資金に充当の上、営業人員及び製品開発のためのエンジニア等の採用、事業成長を支える経営管理人材等の採用を目的に、人件費の増分の一部として4,000百万円（2021年7月期に500百万円、2022年7月期に1,500百万円、2023年7月期に2,000百万円）を充当する予定であります。

実際の充当時期までは、安全性の高い金融商品等で運用する方針であります。

③ 事業買収等の投資資金

残額は、HRMOS事業等の既存事業の強化や経営ノウハウを活かせる事業など新規事業領域に関する事業買収等を含む投資資金に充当する予定であります。なお、現時点において具体的な内容、金額及び充当時期が決定していないため、実際の充当時期までは、安全性の高い金融商品等で運用する方針であります。また、当社グループの企業価値の向上につながる投資先や新規事業領域が見つからないなどの理由により投資が実施されない場合は、上述のマーケティング投資及び人件費として充当する予定です。

第2【売出要項】

1【売出株式（引受人の買取引受けによる国内売出し）】

2021年4月12日に決定された引受価額(4,700円)にて、当社と元引受契約を締結した後記「2 売出しの条件（引受人の買取引受けによる国内売出し）（2）ブックビルディング方式」に記載の金融商品取引業者（以下「第2 売出要項」において「引受人」という。）は、下記売出人から買取引受けを行い、当該引受価額と異なる価額（売出価格5,000円）で売出しを行います。引受人は株式受渡期日に引受価額の総額を売出人に支払い、引受人の買取引受けによる国内売出しにおける売出価格の総額との差額は引受人の手取金といたします。売出人は、引受人に対して引受手数料を支払いません。

<欄内の数値の訂正>

「ブックビルディング方式」の「売出価額の総額（円）」の欄：

「6,053,400,000」を「6,372,000,000」に訂正。

「計（総売出株式）」の「売出価額の総額（円）」の欄：「6,053,400,000」を「6,372,000,000」に訂正。

<欄外注記の訂正>

- (注) 2. 前記「第1 募集要項 1 新規発行株式」の(注)3に記載のとおり、引受人の買取引受けによる国内売出しと同時に、国内募集、海外募集及び海外売出しが**行われます**。引受人の買取引受けによる国内売出し及び海外売出しの総売出株式数（以下「総売出株式数」という。）は11,248,700株で、その内訳は、引受人の買取引受けによる国内売出し1,274,400株、海外売出し9,974,300株**であります**。
3. 振替機関の名称及び住所は、前記「第1 募集要項 1 新規発行株式」の(注)2に記載した振替機関と同一であります。
4. 前記「第1 募集要項 1 新規発行株式」の(注)3に記載のとおり、国内募集及び引受人の買取引受けによる国内売出しにあたっては、需要状況等を**勘案した結果**、オーバーアロットメントによる売出しが追加的に行われます。
なお、オーバーアロットメントによる売出しについては、後記「3 売出株式（オーバーアロットメントによる売出し）」及び「4 売出しの条件（オーバーアロットメントによる売出し）」をご参照下さい。
5. 前記「第1 募集要項 1 新規発行株式」の(注)3に記載のとおり、国内募集、引受人の買取引受けによる国内売出し、海外募集及び海外売出しにおいて、国内及び海外のそれぞれの市場における需要状況に見合った販売を行うため、国内の引受団に当初割当てられた当社普通株式の一部が海外の引受団に売却されることがあります。
6. 前記「第1 募集要項 1 新規発行株式」の(注)6に記載のとおり、グローバル・オファリングに関連して、ロックアップに関する合意が**なされております**。その内容については、後記「募集又は売出しに関する特別記載事項 4. ロックアップについて」をご参照下さい。
7. 当社は、引受人の買取引受けによる国内売出しにおいて、日本証券業協会の定める「株券等の募集等の引受け等に係る顧客への配分に関する規則」に従い、合弁事業の維持・発展を目的として、当社取引先であるZホールディングス株式会社の完全子会社であるZ Venture Capital株式会社が組合員となるZVC1号ファンド有限責任事業組合が業務執行組合員となり、かつ、Zホールディングス株式会社の完全子会社であるZファンドインベストメント株式会社が一般組合員となるZVC1号投資事業組合に対し、引受人の買取引受けによる国内売出しに係る売出株式数のうち**200,000株について売付けることを引受人に要請し、引受人は当社の要請に基づき親引けを実施します**。引受人に対し要請した当社の指定する販売先（親引け先）の状況等につきましては、後記「募集又は売出しに関する特別記載事項 7. 当社指定販売先への売付け（親引け）について」をご参照下さい。
8. 国内募集が中止された場合には、引受人の買取引受けによる国内売出しも中止されます。

(注)3. 4. の全文削除及び5. 6. 7. 8. 9. 10. の番号変更

2【売出しの条件（引受人の買取引受けによる国内売出し）】

(2)【ブックビルディング方式】

<欄内の数値の訂正>

「売出価格（円）」の欄：「未定(注)1(注)2」を「5,000」に訂正。

「引受価額（円）」の欄：「未定(注)2」を「4,700」に訂正。

「申込証拠金（円）」の欄：「未定(注)2」を「1株につき5,000」に訂正。

「元引受契約の内容」の欄：「未定(注)3」を「(注)3」に訂正。

<欄外注記の訂正>

- (注) 2. 売出価格及び申込証拠金は、発行価格及び申込証拠金とそれぞれ同一の理由により決定いたしました。ただし、申込証拠金には、利息をつけません。
引受人の買取引受けによる国内売出しにおける引受価額は、国内募集における引受価額と同一の理由により決定いたしました。

| | | |
|-------------|-----------------------|----------|
| 3. 元引受契約の内容 | | |
| 各引受人の引受株数 | 野村證券株式会社 | 699,000株 |
| | 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 | 444,200株 |
| | S M B C日興証券株式会社 | 28,000株 |
| | みずほ証券株式会社 | 28,000株 |
| | 大和証券株式会社 | 28,000株 |
| | 楽天証券株式会社 | 21,000株 |
| | 株式会社SBI証券 | 21,000株 |
| | マネックス証券株式会社 | 5,200株 |

引受人が全株買取引受けを行います。

なお、元引受契約においては、引受手数料は支払われません。ただし、売出価格と引受価額との差額（1株につき300円）の総額は引受人の手取金となります。

4. 売出人及び当社は、上記引受人と2021年4月12日に引受人の買取引受けによる国内売出しに関する元引受契約を締結いたしました。

3【売出株式（オーバーアロットメントによる売出し）】

<欄内の数値の訂正>

「ブックビルディング方式」の「売出価額の総額（円）」の欄：

「1,267,775,000」を「1,334,500,000」に訂正。

「計（総売出株式）」の「売出価額の総額（円）」の欄：「1,267,775,000」を「1,334,500,000」に訂正。

<欄外注記の訂正>

- (注) 1. オーバーアロットメントによる売出しは、国内募集及び引受人の買取引受けによる国内売出しに伴い、その需要状況等を勘案した結果、野村證券株式会社が行う日本国内における売出しであります。

5. 振替機関の名称及び住所は、前記「第1 募集要項 1 新規発行株式」の(注)2に記載した振替機関と同一であります。

(注)5. の全文削除及び6. の番号変更

4【売出しの条件（オーバーアロットメントによる売出し）】

(2)【ブックビルディング方式】

<欄内の数値の訂正>

「売出価格（円）」の欄：「未定(注)1」を「5,000」に訂正。

「申込証拠金（円）」の欄：「未定(注)1」を「1株につき5,000」に訂正。

<欄外注記の訂正>

- (注) 1. 売出価格及び申込証拠金については、引受人の買取引受けによる国内売出しにおける売出価格及び申込証拠金とそれぞれ同一の理由により、2021年4月12日に決定いたしました。ただし、申込証拠金には、利息をつけません。

2. オーバーアロットメントによる売出しに必要な条件は、2021年4月12日に決定いたしました。

【募集又は売出しに関する特別記載事項】

2. 海外募集及び海外売出しについて

国内募集、引受人の買取引受けによる国内売出し及びオーバーアロットメントによる売出しと同時に、海外市場（ただし、米国においては米国証券法に基づくルール144Aに従った適格機関投資家に対する販売のみとします。）における募集（海外募集）及び売出し（海外売出し）が、Morgan Stanley & Co. International plc及びNomura International plcを共同主幹事会社兼ジョイント・ブックランナーとする海外引受会社の総額個別買取引受けにより行われます。

総発行数は2,127,700株で、その内訳は、国内募集22,500株、海外募集2,105,200株であります。また、総売出株数は11,248,700株で、その内訳は、引受人の買取引受けによる国内売出し1,274,400株、海外売出し9,974,300株であります。

また、海外の投資家向けに英文目論見書を発行しておりますが、その様式及び内容は、本書と同一ではありません。

3. 本件第三者割当増資とシンジケートカバー取引について

オーバーアロットメントによる売出しの対象となる当社普通株式は、オーバーアロットメントによる売出しのために、野村證券株式会社が当社株主である南壮一郎（以下「貸株人」という。）より借入れる株式であります。これに関連して、当社は、2021年3月17日及び2021年4月6日開催の取締役会において、本件第三者割当増資を行うことを決議しております。本件第三者割当増資の会社法上の募集事項については、以下のとおりであります。

| | | | |
|-----|----------------------|---------------|----------------------------|
| (1) | 募集株式の数 | 当社普通株式 | 266,900株 |
| (2) | 募集株式の払込金額 | 1株につき3,825円 | |
| (3) | 増加する資本金及び資本準備金に関する事項 | 増加する資本金の額 | 627,215,000円（1株につき金2,350円） |
| | | 増加する資本準備金の額 | 627,215,000円（1株につき金2,350円） |
| (4) | 払込期日 | 2021年5月18日(火) | |

(注) 割当価格は、2021年4月12日に決定された「第1 募集要項」における新規発行株式の引受価額(4,700円)と同一であります。

(略)

4. ロックアップについて

グローバル・オフファリングに関連して、売出人及び貸株人である南壮一郎、売出人である島田亨、竹内真、永田信、佐藤和男、村田聡、多田洋祐、園田 剛史及び酒井哲也、当社株主であるJapan Entrepreneur Collaboration Limited及び田中潤二は、ジョイント・グローバル・コーディネーターに対し、元引受契約締結日から上場（売買開始）日（当日を含む。）後180日目の2021年10月18日（当日を含む。）までの期間（以下「ロックアップ期間①」という。）、当社株主であるYJ2号投資事業組合は、ジョイント・グローバル・コーディネーターに対し、元引受契約締結日から上場（売買開始）日（当日を含む。）後360日目の2022年4月16日（当日を含む。）までの期間、（以下、「ロックアップ期間②」といい、「ロックアップ期間①」と併せて以下、「ロックアップ期間」という。）中、ジョイント・グローバル・コーディネーターの事前の書面による同意なしには、当社普通株式の譲渡又は処分等（ただし、引受人の買取引受けによる国内売出し、海外売出し及びオーバーアロットメントによる売出しのために当社普通株式を貸し渡すこと等は除く。）を行わない旨を約束する書面を2021年4月12日付で差し入れております。

また、当社はジョイント・グローバル・コーディネーターに対し、「ロックアップ期間①」中、ジョイント・グローバル・コーディネーターの事前の書面による同意なしには、当社普通株式の発行、当社普通株式に転換もしくは交換されうる有価証券の発行又は当社普通株式を取得もしくは受領する権利を表章する有価証券の発行等（ただし、国内募集、海外募集、本件第三者割当増資及び株式分割による新株式発行等を除く。）を行わない旨を約束する書面を2021年4月12日付で差し入れております。

なお、上記のいずれの場合においても、ジョイント・グローバル・コーディネーターは各ロックアップ期間中であってもその裁量で当該誓約の内容の一部又は全部につき解除できる権限を有しております。

さらに、親引け先であるZVC1号投資事業組合は、ジョイント・グローバル・コーディネーター及び共同主幹事会社に対し、上場（売買開始）日（当日を含む。）から同日後360日目の日（2022年4月16日）（当日を含む。）までの期間中、ジョイント・グローバル・コーディネーター及び共同主幹事会社の事前の書面による同意なしには、当該親引けにより取得した当社普通株式を含む当社普通株式の譲渡又は処分等を行わない旨を約束する書面を2021年4月12日付で差し入れております。

上記のほか、当社は、取引所の定める有価証券上場規程施行規則の規定に基づき、上場前の第三者割当等による募集株式等の割当等に関し、当社新株予約権の割当を受けた者との間に継続所有等の確約を行っております。その内容については、後記「第四部 株式公開情報 第2 第三者割当等の概況」をご参照下さい。

7. 当社指定販売先への売付け（親引け）について

当社は、引受人の買取引受けによる国内売出しにおいて、日本証券業協会の定める「株券等の募集等の引受け等に係る顧客への配分に関する規則」に従い、合併事業の維持・発展を目的として、当社取引先であるZホールディングス株式会社の完全子会社であるZ Venture Capital株式会社が組合員となるZVC1号ファンド有限責任事業組合が業務執行組合員となり、かつ、Zホールディングス株式会社の完全子会社であるZファンドインベストメント株式会社が一般組合員となるZVC1号投資事業組合に対し、引受人の買取引受けによる国内売出しに係る売出株式数のうち**200,000株**について売付けることを引受人に要請し、引受人は当社の要請に基づき親引けを実施します。なお、当社既存株主のYJ2号投資事業組合の業務執行組合員YJキャピタル株式会社は、LINE Ventures株式会社との間でYJキャピタル株式会社を吸収合併存続会社とする吸収合併を行い、2021年4月1日にZ Venture Capital株式会社に商号変更しております。

当社が引受人に対し、売付けることを要請している指定販売先（親引け予定先）の状況等については以下のとおりであります。

(1) 親引け先の状況等

| | | |
|------------------------|---|--|
| a. 親引け先の概要 | 名称 | ZVC1号投資事業組合 |
| | 本店の所在地 | 東京都千代田区紀尾井町1-3 |
| | 出資額 | 6,000百万円 |
| | 組成目的 | 有価証券並びに出資持分の取得及び保有 |
| | 主たる出資者及びその出資比率 | ZVC1号ファンド有限責任事業組合：1%、Zファンドインベストメント株式会社：99% |
| | 業務執行組員又はこれに類する者 | 名称 ZVC1号ファンド有限責任事業組合 所在地 東京都千代田区紀尾井町1番3号 出資額 60百万円 組成目的 投資事業組合の組成、運用及び管理等並びに投資事業組合への出資 主たる出資者及びその出資比率 Z Venture Capital株式会社：70% 業務執行組員又はこれに類する者 Z Venture Capital株式会社 |
| b. 当社と親引け先との関係 | 出資関係 | 該当事項はありません。 |
| | 人事関係 | 該当事項はありません。 |
| | 資金関係 | 該当事項はありません。 |
| | 技術又は取引関係 | 親引け先の業務執行組員であるZVC1号ファンド有限責任事業組合の組員であるZ Venture Capital株式会社の親会社であり、かつ、親引け先の一般組員であるZファンドインベストメント株式会社の親会社でもあるZホールディングス株式会社との間で、当社関連会社である株式会社スタンバイに関する合弁事業契約書を締結しています。 |
| b'. 当社と親引け先の業務執行組員との関係 | 出資関係 | 該当事項はありません。 |
| | 人事関係 | 該当事項はありません。 |
| | 資金関係 | 該当事項はありません。 |
| | 技術又は取引関係 | 親引け先の業務執行組員であるZVC1号ファンド有限責任事業組合の組員であるZ Venture Capital株式会社の親会社であり、かつ、親引け先の一般組員であるZホールディングス株式会社との間で、当社関連会社である株式会社スタンバイに関する合弁事業契約書を締結しています。 |
| c. 親引け先の選定理由 | 当社グループとの友好的取引関係を維持・発展させていくために行うものであります。 | |
| d. 親引けしようとする株式の数 | 当社普通株式 200,000株 | |
| e. 株券等の保有方針 | 長期保有の見込みであります。 | |
| f. 払込みに要する資金等の状況 | 当社は、親引け先が親引け予定株式の払込金額の払込みに必要な資金力を十分に有している旨の説明を受けております。 | |
| g. 親引け先の実態 | 親引け先の業務執行組員であるZVC1号ファンド有限責任事業組合の組員であるZ Venture Capital株式会社の親会社であり、かつ、親引け先の一般組員であるZファンドインベストメント株式会社の親会社でもあるZホールディングス株式会社は、東京証券取引所市場第一部に上場しており、コーポレート・ガバナンス報告書において、企業行動憲章を掲げ、Zホールディングスグループの反社会的勢力との隔絶について約束していることから、反社会的勢力との関係を有していないと判断しました。 | |

(3) 販売条件に関する事項

販売価格は、2021年4月12日に決定された「第2 売出要項」の引受人の買取引受けによる国内売出しの売出株式の売出価格（5,000円）と同一であります。

(4) 親引け後の大株主の状況

<欄外注記の訂正>

- (注) 2. 国内募集、海外募集、引受人の買取引受けによる国内売出し及び海外売出し後の所有株式数並びに国内募集、海外募集、引受人の買取引受けによる国内売出し及び海外売出し後の株式（自己株式を除く。）の総数に対する所有株式数の割合は、2021年3月17日現在の所有株式総数に、国内募集、海外募集、引受人の買取引受けによる国内売出し、海外売出し及び親引けを勘案した株式数及び割合になります。